

事務事業名		集会所文化教養講座開催事業(葛生地区)					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	5 市民みんなでつくる夢のあるまちづくり					担当組織	担当部	教育総務部	担当課	生涯学習課
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり					担当係	人権教育係	担当課長名	小曾根治夫	
	施策	2 個々の人権を尊重する地域社会の形成と男女共同参画社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 人権意識の高揚					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	14356	一般	10	4	1	集会所文化教養講座開催事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S54年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市同和対策集会所条例、施行規則					
	実施方法		直営		事業分類		講座・教室・イベント等開催事業				
	リーディングプロジェクト		該当なし		市長マニフェスト		該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
地域住民を対象として参加者を募集(チラシ配布)し、料理教室、手芸教室、着付け教室、卓球教室、健康民踊体操教室、竹工芸教室、園芸教室、絵手紙教室、フラワーアレンジメント教室、こころのストレッチ教室の10の「人生まなびや講座」を開催した。講師には、謝金を支払った。	実施月	5月～2月					
	実施内容	料理 7回・手芸 7回・着付け 7回・卓球 7回・健康民踊体操 7回・竹工芸 7回 園芸 7回・絵手紙 7回・フラワー 7回・こころの 7回 計 70回					
	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	講座開催数	回	65	70	70	70	70
	講座参加延べ人数	人	458	540	520	500	480

②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

周辺地域住民	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	対象地域20歳以上の住民	人	5,950	5,857	5,711	5,660	5,610

③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

健康と教養を通じて、生活文化の向上と人権意識の高揚を図り、交流やふれあいを深めることにより人権の尊重される明るい地域づくりを目指し、人権問題に関する学習意欲を喚起して、人権尊重の行動がとれるようにする。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	講座参加者延べ人数/対象地域20歳以上の住民	%	7.7	9.2	9.1	8.8	8.6

④結果(どのような結果に結びつきますか?)

日常生活において、人権を意識している。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	人権講演会参加者で「日頃、人権を意識しながら生活している」と回答した人の割合	%	90.4	93.6	92.0	93.0	93.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円	185							
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	497	499	510	510	510			
	事業費計(A)	千円	682	499	510	510	510			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			報償費	636	報償費	494	報償費	440	報償費	440
			需用費	45	需用費	5	需用費	70	需用費	70
役務費			1	役務費	0	役務費	0	役務費	0	
人件費	人	1	1	1	1	1				
のべ業務時間	時間	740	740	740	740	740				
人件費計(B)	千円	2,879	2,916	2,916	2,916	2,916				
トータルコスト(A)+(B)	千円	3,561	3,415	3,426	3,426	3,426				

事務事業名	集会所文化教養講座開催事業(葛生地区)	担当部	教育総務部	担当課	生涯学習課	担当係	人権教育係
-------	---------------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和54年度に集会所開設と同時に地域住民からの要望により開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成14年3月の地域改善対策特定事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の期限切れを迎え、同和対策から同和問題を始めとする様々な人権問題を解決していくという一般対策に移行された。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	なし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	講座を開催することにより人権教育の場を提供できる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	人権の尊重される社会づくりは市の責務であり、人権教育を推進する必要がある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	対象を拡大することは、現在の実施場所を考慮すると不可能である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	地域住民のニーズあった講座を開設し、人権教育に参加意欲のある者の増加を図る。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費は講師謝金がほとんどであり、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	集会所事業は、人権教育の場を提供し事業を実施する責務を有するので、受益者負担を求めない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
「同和問題をはじめとする様々な人権問題が解決に向かっていと認識できる」と多くの市民が回答した場合に、終了できる。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			